

# 自治会通信

## 2017年 第4号

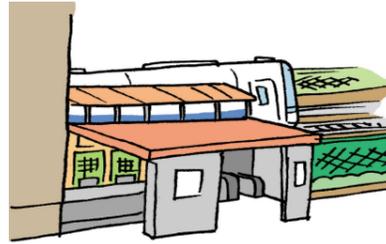
松之浜町自治会

### 『この町に育って』

子どもの頃から松之浜町に住んでいます。さすがに駅の名前は「助松」ではなく「松ノ浜」でしたが、駅下りの松之浜町交差点から、たこ公園への道は大変細く、くねくねと曲がっていました。将来、この道が16mに拡幅されると聞いて、「本当か？」と思った記憶があります。今は大きなまっすぐな道が通り、昔のくねくね道の方が信じられない様子になりました。

それに比べて、駅から海側にかけての松之浜町の町の中の様子は、お屋敷に代わって新しいお家が増えましたが、静かな雰囲気そのままの良い街だと思います。ただし残念なのは、子どもの姿をあまり見かけなくなったことでしょうか。少子化といわれる中でも、若い世代の人達がここで子どもを育てたいと思って移って来てくれたらいいなと思います。

自分が育ってきた松之浜町に、少しでもお役に立てたらと思って、役員をさせていただいております。これからもよろしくお願ひいたします。



書記 田中 忠

### 『自ら住む地域は自ら守る』

私、東條弘さんの後任として引き受けしました坂倉利範と申します。

松之浜自治会の皆様のご協力を仰ぎながらお役に立てるよう頑張りますので何卒よろしくお願い申し上げます。主たる仕事内容は、自治会員を募ることです。「自ら住む地域は自ら守る」と言う時代から、ご近所との関係の希薄化や、情報は人から聞かなくてもパソコンやスマートホンで飛び込んでくる。という具合に生活様式が、随分と変わってきていますので自治会組織に頼らなくてもと錯覚しがちですが、こういう時代だから自治会のような地域の人々を結び付ける存在が今後ますます大切になってきます。

「地域全体で子育てや高齢者を応援していく」という考えにも、子供たちが地域の人と触れ合いながら育つという経験は大切なことです。この紙面にもありますように子供やシニア関係の行事も多く、やがては地域自体の活性化にもつながります。一人でも多くの方が自治会に加入されることを願っています。

理事長 坂倉 利範

### 『防犯委員会活動報告』



松之浜町防犯委員会は29年度末現在29名にて活動しております。青色パトロールによる校区内巡回は月に4～5回、その他盆踊り時の町内巡回及び、歳末29日、30日の夜警巡回には二日で約90名の(有志含)参加を得て町内巡回を実施することができました。ご協力賜りました方々に厚く御礼申し上げます。

今年も町内安寧、安心、安全な故郷をめざして活動して行きたいと願ひしております。お若い方の参加協力を頂ければ助かります。どうぞよろしくお願ひいたします。

防犯委員長 白神 美知雄

### 『この町に居住して』

私は松之浜町に居住して40年になります。来た当時は、松之浜ドライブインがありその付近にはスーパーや喫茶店があり駅下がりには古川屋や松之浜薬局をはじめ数店舗が営業されていたのですが、今では松之浜薬局、西山理髪店、制服のすみれ、矢野たばこ店、黒川商店のみで随分淋しくなりました。

拙宅付近に住まわれている方々もかなりの方が引っ越し等で随分入れ替わり若い住民の方が多くなりました。若かった頃を思い出して羨ましく思う今日この頃です。

この町は住みよい町だと思うのですがいつやってくるか解らない地震、津波に対してはもっとも危険な地域と言われています。それに対する備えは出来ていますか？

十分な備えをして置きましょう。

副会長 桐本 伊久志

# 『松寿会』

超高齢社会において松寿会では地域の担い手として心の繋がりを深める活動をしてきました。昨年4月より松寿会会長を引き継ぎ1年が過ぎました。全く急な就任でしたので戸惑いと不安がありましたが、副会長(東、西、南、中、女性部)の5名の方々が積極的に非常に協力をしていただきスムーズに運営できたと思います。

ただ、昨年4月に333名の会員数でしたが、この1年で10名程度の会員がお亡くなりになり減少傾向になっております。町内には会員以外の方が100名を超えるのではないかと考えているのですが会員になってくれません。その理由として世話をしたくない、老人扱いされたくない、等、要は静かにマイペースで生活したい方が大勢おられるのではないのでしょうか。

しかしながら周りを見ますと独居暮らしの方の多いこと、また、生活習慣病による高血圧症、認知症、足腰の衰えで家の中に閉じこもりがちになり余計に健康を損ねる結果になっています。それには、進んで①人と会話をする、②体を動かす、③スポーツ同好会、文化部同好会等に積極的に参加することが何よりの意識改革、免疫力向上になると思います。その結果、日常生活に何からのプラスになるものと思いますし、お互いに近隣住民との絆が深まりそれが防犯、防災の抑止力となり命を守る助け合い精神が生まれて来るのではないのでしょうか。

今、社会問題にもなっております2025年問題で、75歳以上の高齢者が大幅に増え、その結果、認知症患者が700万人になるといわれています。

松寿会のモットーは、①明るく、②楽しく、③元気よくを日常生活に生かせるよう頑張っています。又、自治会と連携して住みよい町づくりを目指していくこととお約束します。

松寿会会長 長野 泰孝

# 『子ども会』

松之浜町子ども会では、同じ地域に住む子ども達が色々な行事に参加し、経験する事で豊かな人間性が育つ事を目指して活動しています。

今年度のサマーキャンプでは春日町の子ども会と合同で浜小学校にて一泊二日の宿泊キャンプを行いました。学校のグラウンドに子ども達でテントを張ったり、カレー作りやキャンプファイヤー、肝試しも行いました。冬にはもちつきやボウリング大会も行い、参加した子ども達はみんな楽しそうに取り組んでくれて、良い経験が出来たと喜んでます。

子ども達の元気な声や笑顔がまわりの大人達にも元気を与えてくれます！そして、地域の元気にも繋がってほしいと思います。ぜひ皆様も子ども達を温かく見守ってくださいますようお願いいたします。また、地域の皆様におきましては、古紙回収でのご協力など誠にありがとうございます。

随時、会員、指導者を募集中ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

子ども会会長 大西 信恵



# 『書記の仕事は資料作り？』

「ちょっと手伝ってくれへんか？」の一言から始まった自治会のお手伝いです。平成13～14年頃でしたか、当時の自治会書記の宮本憲一様のお誘いで企画担当理事の一人として役員会に出席するようになって早十数年。回覧やポスター等の作成。自治会名簿やデータベース、ホームページ。各行事の写真撮影や議事録等の記録資料。することが多すぎて大変な時期もありましたが、現在は書記2名体制になり、相棒の田中忠氏と分担出来て随分助かっています。

平成30年には、4年に一度の自治会名簿の更新があります。最近では、転居されたり、不幸にもお亡くなりになられた方の情報が入りにくくなって、データの更新が遅れがちです。転入の方の情報も含め、お寄せ頂きますようご協力よろしくお願ひ申し上げます。

また、皆様のご意見を自治会運営に生かして行きたいと思っていますので、お気づきの事がございましたら是非お聞かせ頂きます様お願ひ申し上げます。

書記 橋詰 司

# 『編集後記』

今回は、自治会長におまかせしてしまいお役に立てずじまいでしたので、今回こそはと思っておりましたが、やはり思ったほど時間が取れず良い出来とは言えないありさまで申し訳ないです。見開き一枚の構成は手を抜いたのではなく、最初からの構想で考えていました。引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

IT委員長 境 俊勝